

2026 教室・講座・イベントの成果報告

主 催 者 名	はまぎん こども宇宙科学館・洋光台サイエンスクラブ「環境体験教室」				
題 名・副 題	なぜ目は2つもあるの？3D 体感実験とジオラマ作り				
月 日・時 間	2026 年5月 17 日(日) 10:00～12:00				
開 催 場 所	はまぎん こども宇宙科学館 1 階・会議室、隣接公園				
部会・講師名	生物部会 武澤研二	参加数	17 名	講師数	5 名
写 真・画 像					
	授業風景：目の働きを考えました		片目をつぶるとスカイツリーが逃げた		
					
	手に穴が開くマジックのビックリ体験		作った街のジオラマで実験です		
成 果 解 説	<p>ヒトなど脊椎動物は2つの目の働きで餌を探し、天敵から逃れるなど行動します。この教室では2つの目の働きを自分の体を実験材料、測定装置として使う実験によりアツとビックリの体験をします。生きものの暮らしへの気づきが狙いです。</p> <p>動物と目の数など易しいクイズからスタート、イラストのスカイツリーを手に持った輪の中に入れて片目を閉じるとスカイツリーが「逃げる」(絵がずれる)実験、赤青メガネで赤青画(アナグリフ)が3D(立体的)に見える体験などで左右視差と立体視を確かめました。手に持った輪がどこまで見えるか、両眼と左右片眼の見える範囲、自身の「視野」を測りました。両眼視と片眼視の視野の広さが肉食、草食、雑食動物で違うこと、食性が異なると目の働きも異なることを学びました。公園に出て、片目で紙筒から遠景を見つめ、もう一方の目を掌で覆うと「手に穴が開く」マジックを同伴家族も参加し、びっくり不思議な脳を騙す錯視体験をしました。工作した紙製ジオラマ(立体模型)を使って片目では隠匿される物も両眼なら見える、補完の働きを確かめました。更に自由にパーツを貼って紙ジオラマの「わたしの街」を作り感想を発表しました。①距離が分る、②広い視野を得る、③隠匿されたものが見えるなど、2つの目の働きから動物の暮らし方、生き物のつながりを考えました。みんな実験や工作が「楽しい」との感想で、併せて2つの目の働きへの気づきが見られました。</p>				